

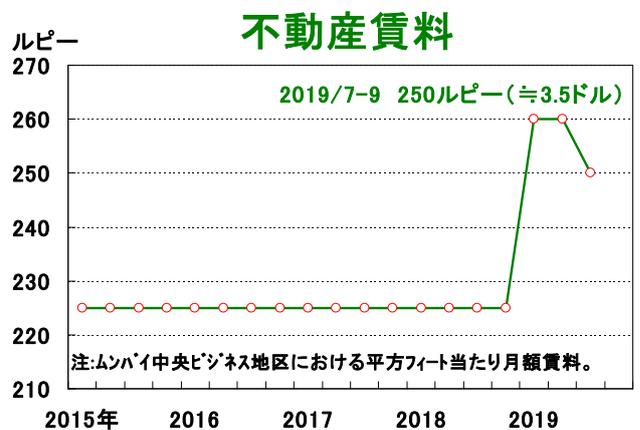
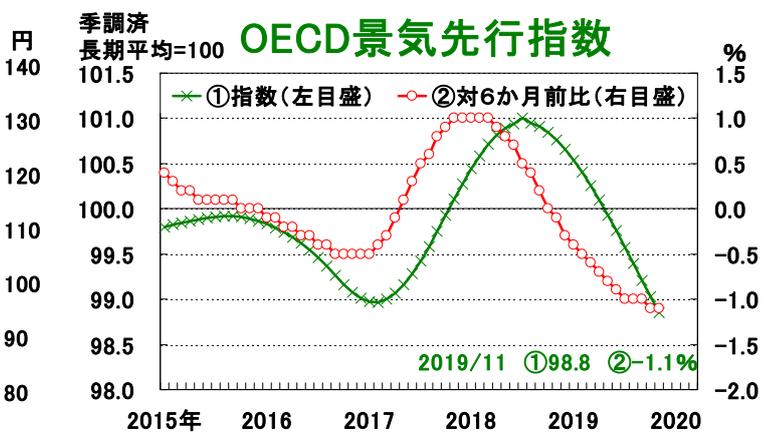
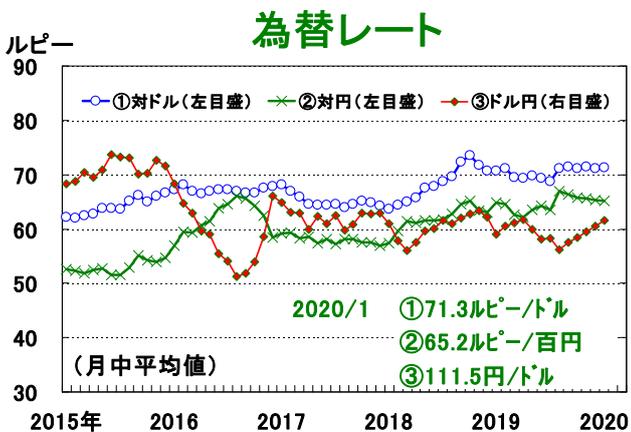
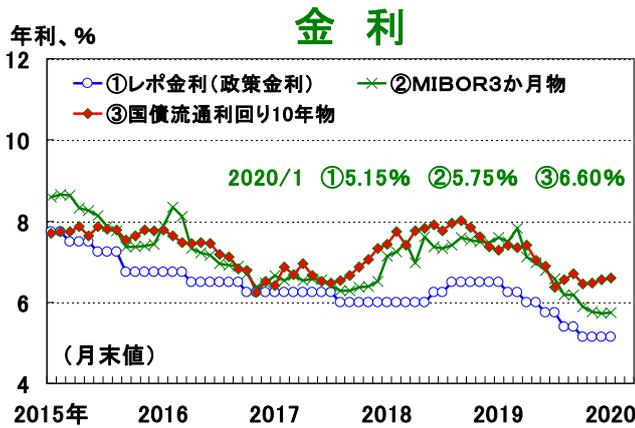
グラフで見るインド経済 2020年2月号(No. 122)

インドの景気は、企業部門の一部に改善の動きがみられるが、緩やかな減速基調にある。まず企業部門では、2019年12月の輸出が前年比-1.8%（前月は同-0.3%）と減少基調で推移した。ただし、同月のコア産業生産指数は同+1.3%と小幅ながら5か月ぶりに増加した。また2020年1月の製造業PMIは55.3（中立水準は50）と約8年ぶりの高水準となっており、製造業の景況感は改善している。一方、家計部門をみると、2019年12月の新車販売台数は前年比-1.2%（前月は同-0.8%）と2か月連続で前年水準割れとなった。

【足元の景気判断】

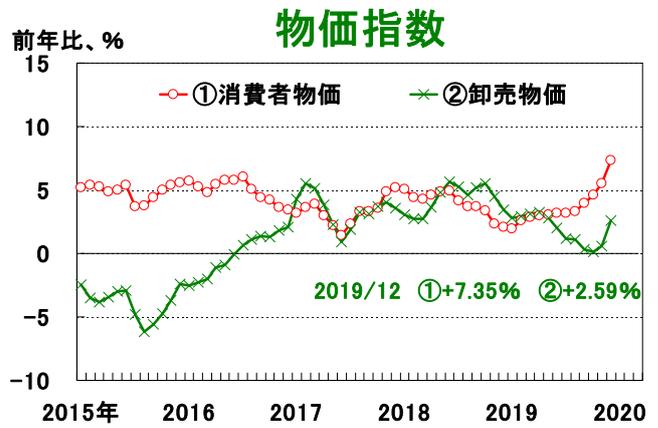
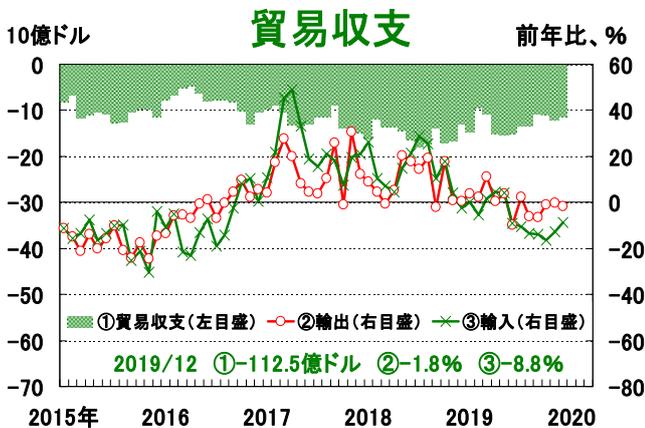
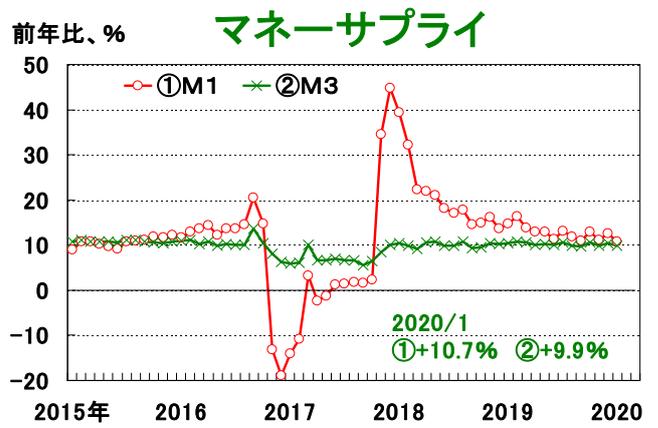
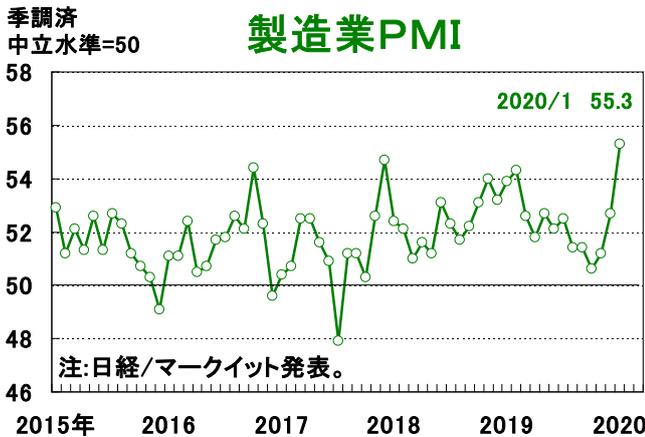
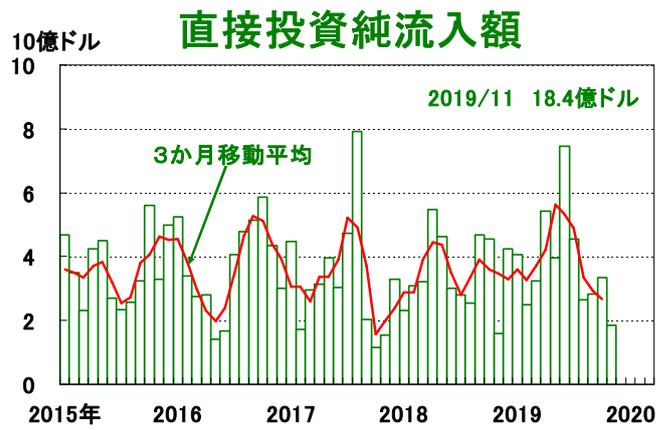
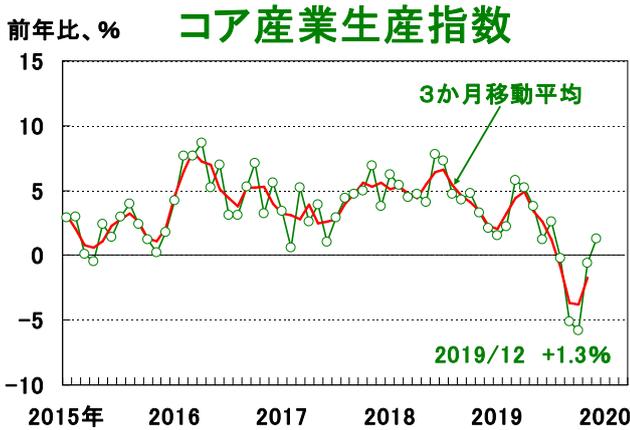
指標	景気全般	輸出	新車販売	コア産業生産	製造業PMI
判断結果	↓	↓	↓	↓	↑

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。